Q リチウムイオン電池、バッテリーの処理について

宮田（みやた）眞理子（まりこ）（文責）

& A 丁寧な周知の手法を担当と相談して取り組む

質問 リチウムイオン電池・バッテリーがさまざまなところで発火し、火災を起こしてニュースで報道されている。処理については環境省から各自治体に任された。回収・処理方法について、先日ホームページでは掲載されていたが、広報を情報源にしている方が多い。広報に間に合わない場合は折り込みに入れるなど、周知方法を考えるべきだ。

答弁 令和7年6月から拠点回収を行なっている。ホームページに掲載した。今回は間に合わなかったが、7月の広報でお知らせをする。丁寧な周知の手法を担当と相談して取り組む。

専用回収ボックス

中子の町有地のその後は

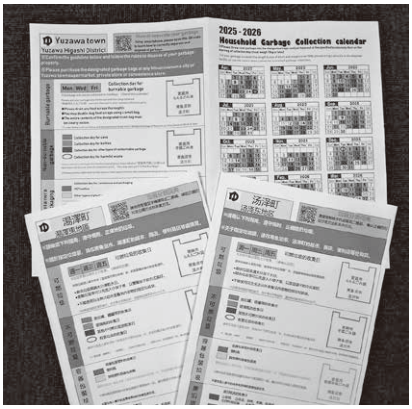
質問 中子のノリタ跡地の活用について企業誘致の方向だけを見てきた。昔、広く意見を聞く委員会があったという。土壌汚染が発覚し、頓挫してしまった。前町長はどこに出しても恥ずかしくない土地にするとして除染をした。今一度、活用方法の意見を聞ける会を設けてみてはどうか。

答弁 町長になって12年目である。今までの経緯を踏まえて企業誘致について取り組んできた。アンテナを張って話を聞いていく。委員会は設けない。

海外からの移住者の対応について

質問 海外の方が湯沢に住むことを否定するものではないが、ルールを守っていただかなくてはならない。町として窓口を設置し、対応に当たっては如何か。

答弁 ゴミについては英語と、中国語は簡体字・繁体字の2種類のカレンダーで対応している。窓口設置については さまざまな部署で手薄な状態であり、現実的でない。総務課が受けて、それぞれの担当部署に振り分ける。



ごみ収集カレンダー外国語版

湯沢町一人暮らし等安心登録サービス事業の展開状況について

質問 委員会にて現在課題となっていること「身元保証」「生活支援」「死後事務サービス」について説明があった。専門性があることは別として、地域住民がボランティアでできることを町民に訴え、協力を仰がなければならないと感じる。どのように周知するのか。

答弁 民間が関わっていくのには難しいものがあるが、どのような支援ができるか社協と共に考え、取り組んでいく。ボランティアについて内容や募集についての周知について考えていく。